

東京電力ホールディングス(株)福島第一原子力発電所
2022年度 パフォーマンス向上会議情報(2022年9月26日(月)分)

◆不適合とは、本来あるべき状態とは異なる状態、もしくは本来行うべき行為(判断)とは異なる行為(判断)を言います。法律等で報告が義務づけられているトラブルから、発電所の通常の点検で見つかる計器や照明の故障など、広い範囲の不具合が対象になります。

2022年9月26日のパフォーマンス向上会議で審議された不適合は、下記のとおりです。

番号	不適合内容	グレード	発見日
1	<p>【増設雑固体廃棄物焼却設備の配管ヒーターの不動作について】</p> <p>当社委託員が、増設雑固体廃棄物焼却設備の「フィールド配管温度低」の警報発生を確認。調査の結果、トリチウムサンプルラック(B)入口配管温度が通常約120℃に対し約50℃に低下していることから、結露の発生を防止するため配管を昇温する配管用ヒーターの不動作と推定。</p> <p>なお、現在、増設雑固体廃棄物焼却設備は停止中であり、現時点では問題なし。今後、当該ヒーターの点検、修理を実施予定。</p>	G III	9月16日
2	<p>【構内配電線高圧配電塔の自動停止について】</p> <p>当社社員が、陸側遮水壁ブライン供給ポンプの停止、構内各所の休憩所他の停電を確認。調査の結果、構内配電線高圧配電塔の負荷の一つである「メガフロート材料供給用電源設備」の電源に、過電流が流れる異常が発生したことにより、その上流の電源(母線)に電圧低下が発生し、当該状況となっていたことを確認。</p> <p>当該箇所(事故点)を構内配電線から切り離し、構内配電線は復旧済み。</p> <p>構内配電線の停止の影響で陸側遮水壁設備が約5時間停止したが、凍土の温度上昇はなく、陸側遮水壁設備の機能に影響なし。</p> <p>今後、「メガフロート材料供給用電源設備」等の調査、対策を検討予定。</p>	G III	9月19日
3	<p>【資機材倉庫等電源設備の絶縁抵抗の不良について】</p> <p>当社社員が、構内配電線高圧配電塔の自動停止後に、事務本館周辺の資機材倉庫等の電源設備を復旧する際、絶縁抵抗を測定したところ、絶縁抵抗値が通常より低下していることを確認。</p> <p>調査の結果、資機材倉庫等の設備には異常がなく、電源設備の絶縁抵抗の低下と判明。</p> <p>なお、資機材倉庫等の設備の負荷については予備電源等から応急的に電源供給予定。</p> <p>今後、電源設備の絶縁抵抗低下の原因調査、対策を検討予定。</p>	G III	9月20日